制服について(案)

八代市立泉中学校
校長 村山 勝宣

① 今後の方向性

男女どちらも着られる制服(第三の制服(仮称))を導入する。(令和6年度から)

② 導入の目的

現在、八代市内の中学校にも、心の性と体の性が一致せず制服の着用を強いられることが心の重荷になっている生徒がいます。

そのような中で、八代の中学校で協議を重ね、「第三の制服」として、男女関係なく着用する制服を導入を行うこととなりました。

そのことで、制服着用についてのストレス等をなくすことや、一人一人の個性を尊重することにも繋がると考えています。

さらに、本校は、冬季はととも低温となるため、生徒の登下校などの防寒対策にも繋がると考えています。

八代市教育委員会や八代市PTA連合会とも共通理解を図り、具体的な導入の方策を話し合いを進めています。

③ 児童生徒への学びについて

本校(中学生)でも性的マイノリティーについての理解や行動等について、人権教育の観点で学習しています。

また、ジェンダー平等については、社会科のSDGsの学習の中や道徳の中でも学習しています。性教育については、小学校体育、中学校保健体育などのほか、発達段階に応じた学習を進めています。

正しい理解の中で、一人一人が尊重される社会を作る観点から、学びを行っています。

④ 今後の進め方について

・令和4年度

(1)各学校の取り扱いのある制服小売店(泉町は、田中商店)に、制服を卸している業者(泉町は光多制服)に「第三の制服」をあたってもらい、各学校ごとに既製品を購入できるように対応する。(令和4年度中)

↓

光多制服は、すでに第三の制服の既製品がある。(写真参照)
令和5年1月 光多制服店と制服の対応についての話し合い

(2)PTAや学校運営協議会等にも説明を行う。(2月)

質問や意見等をお願いする(パブリックコメント)

後日アンケートを実施します。ご協力をよろしくお願いいたします。

学校にて集約。

(3)生徒への説明(趣旨や変更案等)

生徒の意見を聞く。

・令和5年度

(1)学校内で検討を行い、今後の制服についてのルール等を決定する。

(校則の変更)→生徒会との話し合い。

→議論を進め、本校の方針を決定。(5月をめどに)

(2)保護者説明会を実施(1学期末の授業参観時) 制服等の提示

・令和6年度

第三の制服を導入する。

全員が一斉に新規購入するわけではなく、年数をかけて導入していく。

- ⑤ 第三の制服の良さ
- ・男女同じのため、兄弟→弟妹 が着ることも可能。(SDGs)
 - ・同じ制服業者の場合、他校の生徒が使っていた制服をもらって使用することも可能。(ボタン等を取り替えることで) (SDGs)
 - ・LGBTQの観点から、全員が気兼ねなく着用できる。

⑥ 制服の案 (R5. 2. 17現在)

案1

制服を一本化する。(将来的に) ※男女同じ制服

※濃紺(現在女子の制服とほぼ同色)のブレザー。 スラックス。
別紙参照

- ・夏用の「半袖白シャツ」、冬用の「長袖白シャツ」については、
カッターシャツかポロシャツとする。
- ・新規で買うときは、新しい制服を購入する。
- ・現在の制服も、そのまま着用できる。(兄弟等からのものを使ってよい)

案2

現在の制服に、第三の制服を加える。

- ・第三の制服(男女とも着用可)とは

※濃紺(現在女子の制服とほぼ同色)のブレザー。 スラックス。

- ・夏用の「半袖白シャツ」、冬用の「長袖白シャツ」については、
カッターシャツかポロシャツとする。
- ※今後は、男子用女子用と分けることはしない。
3つのどの制服を着てもよい。 ※生徒及び保護者で選択

○名札について

ピンやバッチタイプのもを導入する。(今後検討していく。)

○ボタンについては、本校独自のデザイン(校章等)を入れる予定。

○ネクタイやスカーフ等について

学校の独自性を出すために、ネクタイやスカーフ等を着用することも可能。着用することの希望が多くあった場合、生徒にも意見を聞きながら、色等を決めていくことも考えていく。

★小学生の制服(標準服)について

上は、共通のためそのまま

下は、半ズボン、長ズボン、スカート

(児童及び保護者が選択)

※一つにしぼっても、季節等に変更してもよい。

※シャツについては、中学校に準ずる。